

週刊全住協 News

Japan Association of Home Suppliers

今週の
フラッシュ

13年度の住宅着工戸数は10.6%増の98.7万戸

～国交省、持家と戸建分譲が好調、マンションは微減

国土交通省がまとめた2013年度の「建築着工統計調査報告」によると、新設住宅着工戸数は前年度比10.6%増の98万7254戸で、4年連続の増加となった。消費マインドの改善に加え、消費増税前の駆け込み着工が戸数を押し上げた。利用関係別にみると、持家は同11.5%増の35万2841戸、貸家は同15.3%増の36万9993戸となりそれぞれ2年連続で増加した。分譲住宅は同3.8%増の25万9148戸で4年連続の増加。分譲住宅のうち、マンションは同0.2%減の12万3818戸で4年ぶりに減少、一戸建住宅は同7.5%増の13万3906戸で4年連続の増加と好調を維持した。

〈2013年度〉◇全体98万7254戸(前年度比10.6%増、4年連続の増加)。

[主な利用関係別の内訳] ◇持家35万2841戸(前年度比11.5%増、2年連続の増加) ◇貸家36万9993戸(同15.3%増、2年連続の増加) ◇分譲住宅25万9148戸(同3.8%増、4年連続の増加)。うち◇マンション12万3818戸(同0.2%減、4年ぶりの減少) ◇一戸建住宅13万3906戸(同7.5%増、4年連続の増加)。

[地域別内訳] ◇首都圏=33万7699戸(同6.8%増)、うち持家7万5478戸(同7.6%増)、貸家12万9068戸(同14.5%増)、分譲13万1083戸(同0.4%減) など◇中部圏=11万5526戸(同12.0%増)、うち持家5万4792戸(同10.9%増)、貸家3万6237戸(同15.3%増)、分譲2万4013戸(同10.5%増) など◇近畿圏=14万8618戸(同12.8%増)、うち持家4万2234戸(同10.9%増)、貸家5万2662戸(同23.0%増)、分譲5万3074戸(同6.4%増) など◇その他の地域=38万5411戸(同12.7%増)、うち持家18万337戸(同13.5%増)、貸家15万2026戸(同13.5%増)、分譲5万978戸(同9.9%増) など。

[マンションの圏域別内訳] ◇首都圏=6万7012戸(同6.4%減)、うち東京都4万1216戸(同8.7%減)、神奈川県1万4262戸(同8.7%減)、千葉県6019戸(同7.1%減)、埼玉県5515戸(同25.0%減) ◇中部圏=7416戸(同8.9%増)、うち愛知県6214戸(同13.4%増)、静岡県1001戸(同28.8%増)、三重県0戸(前年度0戸)、岐阜県201戸(同36.2%減) ◇近畿圏=2万6911戸(同9.2%増)、うち大阪府1万5557戸(同1.5%増)、兵庫県6299戸(同12.7%増)、京都府3298戸(同50.2%増)、奈良県633戸(同6.6%減)、滋賀県853戸(同26.4%増)、和歌山県271戸(同47.3%増) ◇その他の地域=2万2479戸(同7.2%増)。

[建築工法別] ◇プレハブ工法=14万9756戸(前年同月比11.7%増、4年連続の増加) ◇ツーバイ・フォー工法=12万520戸(同9.1%増、4年連続の増加)。

〈2014年3月分〉◇全体6万9411戸(前年同月比2.9%減、19か月ぶりの減少)。

〔主な利用関係別の内訳〕◇持家2万1650戸(同13.0%減、2か月連続の減少)◇貸家2万8925戸(同11.3%増、13か月連続の増加)◇分譲住宅1万8468戸(同8.5%減、2か月連続の減少)。うち◇マンション8290戸(同13.4%減、2か月連続の減少)◇一戸建住宅1万44戸(同4.3%減、3か月連続の減少)。

〔URL〕 <http://www.mlit.go.jp/common/001038391.pdf>

【問合せ先】 総合政策局・建設経済統計調査室 03-5253-8111(代)内線 28626

政策動向

国交省、平成26年度「住宅・建築物技術高度化事業」公募開始

国土交通省は、「住宅・建築物技術高度化事業」の公募を開始した。同事業は、住宅建築行政が直面する環境対策、長寿命化対策、安全対策等の推進に寄与する先導的技術開発を行う民間事業者を公募し、優れた技術開発の提案の応募者に当該技術開発に要する費用の一部を補助するもの。

〔技術開発の募集テーマ〕

- (1)住宅等における環境対策や健康向上に資する技術開発
- (2)住宅等におけるストック活用、長寿命化対策に資する技術開発
- (3)住宅等における防災性向上や安全対策に資する技術開発

〔応募期間〕平成26年4月25日(金)～5月30日(金)必着

〔応募者〕共同して技術開発を行う者(単独での応募、国及び地方公共団体の応募は不可)

〔補助金の額〕技術開発に要する費用の1/2以内(限度額：国費5000万円/年・件、3年以内)

〔今後の予定〕平成26年8月上旬を目途に採択を決定

〔住宅・建築物技術高度化事業の概要のHP〕

〔URL〕 http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000083.html

<応募書類の入手・問合せ>

(一社)住宅性能評価・表示協会 住宅建築技術高度化事業担当

〔URL〕 http://www.hyoukakyoukai.or.jp/kokko_hojyo/about/26_koudoka_boshuu.html

E-mail: koudoka@hyoukakyoukai.or.jp 電話：03-5229-7442 FAX：03-5229-7443

〔URL〕 http://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_000517.html

【問合せ先】 住宅局住宅生産課 03-5253-8111 内線 39435

国交省、平成26年度「住宅・建築物省CO2先導事業」の第1回公募開始

国土交通省は、「住宅・建築物省CO2先導事業」の第1回の公募を開始した。家庭部門・業務部門のCO2排出量が増加傾向にある中、省CO2の実現性に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを公募し、予算内において整備費等の一部を補助するもの。

〔応募概要〕

1. 対象事業の種類

- (1) 住宅及び住宅以外のオフィスビル等の建築物の新築
 - (2) 既存の住宅・建築物の改修
 - (3) 省 CO2 のマネジメントシステムの整備
 - (4) 省 CO2 に関する技術の検証
2. 応募期間：平成 26 年 4 月 25 日(金)～6 月 16 日(月) 当日消印有効
3. 選定方法：応募提案については、(独)建築研究所が学識経験者からなる住宅・建築物省 CO2 先導事業評価委員会による評価をもとに、評価結果を国土交通省に報告。これを踏まえ同省が採択を決定。
4. 今後の予定：8 月下旬を目処に採択事業を決定する予定。

<応募書類の入手・問合せ先>

(独) 建築研究所 住宅・建築物省 CO2 先導事業評価室(連絡室)

E-mail : shouco2@kenken. go. jp 電話 : 03-3222-7881 FAX : 03-3222-7882

[URL] <http://www.kenken. go. jp/shouco2/>

[URL] http://www.mlit. go. jp/report/press/house04_hh_000516. html

【問合せ先】 住宅局住宅生産課 03-5253-8111 内線 39421

国交省、平成 26 年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」公募開始

国土交通省は、4 月 10 日に事前告知した「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の公募を開始した。

[公募する事業の概要]

(1) 評価基準に基づく長期優良住宅化リフォーム(平成 25 年度補正予算と同様)

・補助率 1/3、上限 100 万円/戸

(2) 提案による長期優良住宅化リフォーム

・必ずしも評価基準では評価できない先導性・汎用性・独自性の高い長期優良住宅化リフォームの実現手法について幅広く提案を求める。

・補助率 1/3、上限 100 万円/戸を基本とするが、すべての評価項目において S 基準相当と認められる場合は上限 200 万円/戸とすることを可能とする。

[応募期間] 平成 26 年 4 月 25 日(金)～5 月 30 日(金) 18 時必着

[その他]

(1) については 6 月下旬、(2) については 7 月中旬を目処に採択事業を決定予定。また、全ての評価項目において S 基準を満たす長期優良住宅化リフォームを 1 住戸当たり上限 200 万円で補助する公募については 7 月中を目処に行う予定。

<問合せ先(事務事業者)> 長期優良住宅化リフォーム推進事業事務局

E-mail : info@choki-reform. com 電話 : 03-5805-0522

<応募書類の入手先(事務事業者)> 長期優良住宅化リフォーム推進事業事務局

[URL] http://www.kenken. go. jp/chouki_r/

[URL] http://www.mlit. go. jp/report/press/house04_hh_000515. html

【問合せ先】 住宅局住宅生産課 03-5253-8111 内線 39431

住金機構、フラット 35(買取型)の平成 26 年 1~3 月分の申請は 1.98 万戸

(独)住宅金融支援機構がまとめた証券化支援事業に係る【フラット 35】の申請件数(平成 26 年 1~3 月分)によると、証券化支援事業【フラット 35(買取型)】の買取申請戸数は 1 万 9807 戸、買取実績戸数は 1 万 8536 戸(金額は 4714 億 8989 万円)となった。

また、【フラット 35(保証型)】〔住宅融資保険(保証型)が付保されたもの〕は付保申請戸数 47 戸、付保実績戸数 16 戸(金額は 4 億 4174 万円)。

〔URL〕 http://www.jhf.go.jp/topics/sl_jhttp_000009.html

【問合せ先】お客様コールセンター 0120-0860-35

市場動向

アットホーム、3 月の新築戸建の成約価格は 3261 万円で 3 か月連続の上昇

アットホームがまとめた 3 月の「首都圏の新築戸建・中古マンション価格動向」によると、新築戸建の戸当たり平均成約価格は前年同月比 1.8% 上昇の 3261 万円となり、3 か月連続のプラスとなった。一方、中古マンションの戸当たり平均成約価格は 6.1% 上昇し 2186 万円で 3 か月連続のプラスとなった。

〔新築戸建の登録価格・成約価格〕◇登録価格=3303 万円(前年同月比 3.6% 上昇)で、4 か月連続のプラス。うち◇東京 23 区=4298 万円(同 3.8% 上昇)◇東京都下=3573 万円(同 3.4% 上昇)◇神奈川県=3587 万円(同 5.0% 上昇)◇埼玉県=2872 万円(同 3.2% 上昇)◇千葉県=2861 万円(同 6.1% 上昇)◇平均成約価格=3261 万円(同 1.8% 上昇)で、3 か月連続のプラス、特に東京 23 区は前月と一転して 5000 万円以上の高価格帯の物件の成約が好調となり、4 か月ぶりに 4500 万円を超えた。うち◇東京 23 区=4501 万円(同 4.2% 上昇)◇東京都下=3429 万円(同 2.3% 上昇)◇神奈川県=3363 万円(同 0.3% 下落)◇埼玉県=2745 万円(同 1.0% 上昇)◇千葉県=2459 万円(同 5.6% 上昇)。

〔中古マンションの登録価格・成約価格〕◇登録価格=2283 万円(前年同月比 6.3% 上昇)で、3 か月連続のプラス、うち◇東京 23 区=3005 万円(同 7.8% 上昇)◇東京都下=2320 万円(同 19.8% 上昇)◇神奈川県=2119 万円(同 1.7% 上昇)◇埼玉県=1701 万円(同 17.0% 上昇)◇千葉県=1938 万円(同 6.0% 上昇)◇平均成約価格=2186 万円(同 6.1% 上昇)で、3 か月連続のプラス、うち東京 23 区=2804 万円(同 8.9% 上昇)◇東京都下=2067 万円(同 12.9% 上昇)◇神奈川県=1978 万円(同 3.1% 上昇)◇埼玉県=1474 万円(同 2.1% 下落)◇千葉県=1436 万円(同 1.6% 下落)。

〔URL〕 <http://athome-inc.jp/pdf/market/14042401.pdf>

【問合せ先】業務推進部 03-3580-7185

市場指標

東証住宅価格指数、2 月の首都圏総合は 79.95 で 2 か月ぶりに上昇

東京証券取引所は、2月の「東証住宅価格指数」(対象＝首都圏の中古マンション、基準日2000年1月＝100)をまとめた。それによると、首都圏の住宅価格指数総合は前月比0.09ポイント増の79.95で、2か月ぶりに上昇した。

[地域別の内訳] ◇首都圏総合＝79.95(前月比0.09%増)で、2か月ぶりに上昇◇東京都＝85.40(同0.20%減)で、2か月連続で下落◇神奈川県＝78.16(同0.29%増)で、1月の下落から再び上昇◇千葉県＝66.00(同0.61%増)で、1月の下落から再び上昇◇埼玉県＝67.10(同0.75%増)で、2か月ぶりに上昇。

[URL] http://www.tse.or.jp/news/17/b7gje6000004hz9s-att/HP_j.pdf

【問合せ先】 情報サービス部 050-3377-7754

国交省、主要建設資材の需給は均衡、価格は横ばい

国土交通省が今年4月1～5日に調査した「主要建設資材需給・価格調査結果」をまとめた。全国の建設資材動向の[価格動向]＝生コンクリート、骨材(砂、砂利、砕石)、アスファルト合材(新材、再生材)、木材(型枠用合板)、石油は「やや上昇」でその他資材は「横ばい」。

[需要動向]＝全ての資材が「均衡」。
[在庫状況]＝全ての資材が「普通」。

被災3県(岩手、宮城、福島)の建設資材動向の[価格動向]＝セメント、生コンクリート、骨材(砂、砂利、砕石)、アスファルト合材(新材、再生材)、木材(型枠用合板)、石油は「やや上昇」。その他資材は「横ばい」。
[需要動向]＝全ての資材が「均衡」。
[在庫状況]＝骨材(砂、砂利、砕石)は「やや品不足」。

[URL] http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000435.html

【問合せ先】 建設市場整備課 労働資材対策室 03-5253-8111 内線 24863、24864

協会だより

◆5月の行事予定

◇7日(水)	15:30～ 17:15～	中高層新規委員会〔弘済会館〕 懇親会〔テング酒場〕
◇9日(金)	14:00～ 16:00～	支部長懇談会〔ニューオータニガーデンコート〕 理事会〔同上〕
◇16日(金)	10:00～	基礎実務研修会(組織委員会)〔連合会館〕
◇20日(火)	13:30～	賃貸住宅管理セミナー(流通委員会)〔スクワール麴町〕
◇22日(木)	13:00～	特保住宅検査員研修兼制度説明会〔中日パレス名古屋〕
◇23日(金)	13:00～	特保住宅検査員研修兼制度説明会〔ホテルグリーンプラザ大阪〕
◇26日(月)	16:00～	性能向上小委員会(戸建住宅委員会)〔弘済会館〕

※休刊のお知らせ 来週5月9日号は休刊いたします。ご了承下さい。